

---

**会 告**

---

**日本鉄鋼協会臨時総会開催御通知**

会 員 各 位

社団法人 日 本 鉄 鋼 協 会

会 長 三 島 徳 七

本会臨時総会を下記の通り開催いたしますので、何卒ご出席下さりたくご案内申し上げます。

なお、臨時総会にご出席なさらぬ会員各位には、別添委任状に記名捺印の上ご送付下さるか、またはご意見を10月12日（土）までに本会宛お申し出下さい、これらの手続をとられない場合は臨時総会の決議事項にご異議なきものとして、お取扱いいたしますからご了承下さい。

**記**

日 時 昭和 38 年 10 月 18 日（金）9 時 10 分より  
会 場 名古屋市千種区不老町 名古屋大学経済学部内  
日本鉄鋼協会総会会場（第1会場）  
議 案 定款中一部変更の件

## 定款中一部変更案

社団法人日本鉄鋼協会定款中次の通り一部変更する。

1. 第2条（事務所に関する規定）中「東京都中央区宝町2丁目4番地」とあるを「東京都千代田区丸の内1丁目1番地」に変える。
2. 第11条（正会員会費に関する規定）中「年会費 1,500 円」とあるを「年会費 2,000 円」に変える。
3. 第12条（学生会員会費に関する規定）中「年会費 1,000 円」とあるを「年会費 1,200 円」に変える。
4. 第13条（外国会員会費に関する規定）中「年会費 2,880 円」とあるを「年会費 3,600 円」に変える。
5. 付則に次の1項を加える。

第11条、第12条および第13条の変更定款は、昭和39年1月1日から適用する。

**提 案 理 由**

事業の拡充強化に伴い、事務所の移転を必要とするにいたつたので、事務所の所在地を変更せんとするものである。

次に、最近会誌の印刷費、用紙代を初め、その他諸物価が一般に騰貴しており、また事業の推進に伴う諸経費も著しく増大している。これがためには今後一層経費の節約に努めることは勿論であるが、この際最少限度の会費値上げ（維持会員の会費値上げはこの際見合わせる）の要請は已むを得ないことと信じ、ここに定款を変更して正会員、学生会員および外国会員の会費の値上げを行わんとするものである。

## 講演大会講演募集方法の変更について

講演大会における講演の概要は、毎回会誌「鉄と鋼」3月号、9月号（講演大要号）に掲載してまいりましたが現寄稿規程の制限枚数では研究報告を行なうには十分な枚数とはいえませんので、編集委員会において種々検討を重ねた結果、現規程の制限を緩め内容を充実させることといたしました。

従いまして、来春の第67回講演大会より従来の講演大要号は、講演大会講演論文集と改め編集発行いたします。

講演論文の募集は会誌第11号（10月号）に会告いたしますが、募集方法の変更についてあらかじめご了承ください。また、きたくお知らせ申し上げます。

### 記

1. 原稿枚数 原稿は図、写真、表を含め本会所定の原稿用紙8枚以上16枚以内とする。  
ただし、図、写真は合せて5コ以内とする。
2. 英文および和文概要 原稿には100語以内の英文概要とその和文概要を添付すること。
3. 原稿受付日 受付日は原稿締切日として取扱い、その旨論文集に明記する。
4. 第67回講演大会原稿締切日 昭和38年11月30日（土）期限厳守

## 特別講演会開催のお知らせ

第66回講演大会の際に日本金属学会と共催で下記の通り特別講演会が開催されますのでご案内申し上げます。

なお、本会では講師の W. KÖSTER 博士に対し、8月31日開催の評議員会の議決に基づき、定款第8条の規定により、本会名誉会員に推挙いたすこととなり、10月18日講演会場にて推挙状および名誉会員章の贈呈をいたすこととなりましたのでお知らせいたします。

### 記

日 時 昭和38年10月18日（金）10時より  
場 所 名古屋大学 豊田講堂  
演 題 金属および合金の微細組織の研究に関する方法  
講 師 Werner KÖSTER 博士  
(マックスプランク金属研究所長、シュツットガルト工科大学学長)

博士は1922年ゲッチンゲン大学卒業後、カイザー・ウィルヘルム鉄鋼研究所、シュバイツ金属工業、合同製鋼、ドイツ特殊鋼の各社において研究に従事され、1934年マックス・プランク金属研究所(在シュツットガルト)創立とともに同所に移り今日にいたっております。この間、鉄鋼、非鉄金属の広範な分野に亘り250篇以上の輝かしい研究成果を発表されております。

## 第2回共同研究会報告講演会

(10月19日(土)第1会場)

|       |                  |             |         |
|-------|------------------|-------------|---------|
| 9:00  | 開会挨拶             | 共同研究会幹事長    | 山岡武君    |
| 9:05  | 近年の鋼塊鑄型の進歩       | 製鋼部会鑄型分科会主査 | 岩村英郎君   |
| 10:05 | 中小形圧延工場における技術の進歩 |             |         |
|       |                  | 中小形分科会前主査   | 桂寛一郎君   |
| 11:05 | 鉄鋼業における秤量の展望と問題点 |             |         |
|       |                  | 計測部会秤量分科会主査 | 五十部賢次郎君 |

## パネル討論会

(10月18日(金)13:30より名古屋大学豊田講堂)

テーマ 純酸素転炉による高炭素鋼の溶製について

|             |   |                             |                 |
|-------------|---|-----------------------------|-----------------|
| 座<br>長<br>演 | 純酸素転炉概論<br>(特に高炭素鋼の純酸素転炉による製造について)                        | 日本鋼管(株)川崎製鉄所                | 土居襄君            |
|             |   | 日本鋼管(株)川崎製鉄所                | 土居襄君            |
| 討<br>論      | 転炉における高炭素鋼の溶製について<br>純酸素上吹転炉による高炭素鋼の溶製<br>純酸素転炉による高炭素鋼の製造 | 住友金属工業(株)小倉製鉄所生産技術部         | 中谷元彦君           |
|             |   | (株)神戸製鋼所神戸工場製鉄製鋼部           | 光島昭三君           |
|             |   | 尼崎製鉄(株)尼崎製鉄所製鋼部             | 白井弘治君           |
|             |   | 純酸素転炉による高炭素鋼の吹錬(主として脱磷について) | 日本鋼管(株)川崎製鉄所製鋼部 |

### 討論

#### 討論参加者

|              |       |               |        |
|--------------|-------|---------------|--------|
| 名古屋大学工学部     | 佐野幸吉君 | 富士製鉄(株)室蘭製鉄所  | 山本全作君  |
| 東京大学工学部      | 松下幸雄君 | 川崎製鉄(株)千葉製鉄所  | 古茂田敬一君 |
| 東北大学工学部      | 不破祐君  | 尼崎製鉄(株)尼崎製鉄所  | 松永昭君   |
| 金属材料技術研究所    | 荒木透君  | 大同製鋼(株)知多建設部  | 深尾雄四郎君 |
| 日本鋼管(株)技術部   | 水井清君  | 北日本特殊鋼(株)八戸工場 | 小池伸吉君  |
| 八幡製鉄(株)八幡製鉄所 | 若林一男君 |               |        |

## 九州支部特別講演会開催のお知らせ

本会九州支部では日本金属学会九州支部と共催で下記のごとく特別講演会を開催いたしますので、多数会員ご来聴下さるようご案内申し上げます。(聴講無料)

### 記

|     |  |
|-----|--|
| 日 時 | 昭和 38 年 10 月 8 日 (火) 10 時 30 分より                     |
| 場 所 | 八幡製鉄所技術研究所講演室<br>(北九州市八幡区枝光町)                        |
| 演 題 | 内部摩擦による鉄鋼の品質判定                                       |
| 講 師 | Werner KÖSTER 博士<br>(マックスプランク金属研究所長, シュツットガルト工科大学学長) |

## 第10回九州支部合同講演大会開催のお知らせ

本会九州支部では、日本金属学会、日本建築学会各九州支部共催のもとに下記の通り講演大会ならびにパネル討論会を開催いたしますので多数ご参加ご討議下さいますようご案内申し上げます。(聴講無料)

### 記

|     |  |
|-----|--|
| 日 時 | 昭和 38 年 11 月 16 日 (土) 13時~17時                        |
| 場 所 | 九州大学工学部 第 101 教室 (防音教室) ……福岡市箱崎町                     |
| 講 演 | 「建築用鋼材」について……………パネル討論会                               |
|     | 1. 鉄筋コンクリート用鋼材                                       |
|     | 1) 鉄筋コンクリート構造における高張力鉄筋使用上の問題点<br>九州大学工学部 富 井 政 英 君   |
|     | 2) コンクリート鉄筋材としてのスミバーについて<br>住友金属工業(株)小倉製鉄所 永 見 勝 茂 君 |
|     | 2. 高層建築用鋼材   |
|     | 1) 高層建築を対象とする鋼構造研究の現状<br>九州大学工学部 五十嵐 定 義 君           |
|     | 2) 超高層建築用鋼材の現状と将来について<br>八幡製鉄(株)八幡製鉄所 鍵 山 正 則 君      |
|     | 3. 軽量鋼材  |
|     | 1) 薄板および鋼管構造部材接合部の力学性状について<br>熊本大学工学部 黒 羽 啓 明 君      |
|     | 2) 軽量型鋼材の溶接技術上の問題点 九州工業大学 三ヶ島 秀 雄 君                  |

### 申込方法および期限

ハガキにより氏名、勤務先、職名ご記入のうえ 11 月 9 日 (土) まで日本鉄鋼協会九州支部 (北九州市八幡区枝光町 1 の 1 八幡製鉄所技術研究所内) 宛お申込み下さい。

# 格子欠陥と金属の機械的性質セミナー

## 開催のお知らせ

|       |   |        |                     |        |
|-------|---|--------|---------------------|--------|
| 日 時   | 昭和 38 年 11 月 4 日(月), 5 日(火), 6 日(水) 9・30 より |        |                     |        |
| 場 所   | 石川島播磨重工業(株)豊洲綜合事務所 (東京都江東区深川豊洲 2 丁目)        |        |                     |        |
| 主 催   | 日 本 金 属 学 会                                 |        |                     |        |
| 協 賛   | 日本鉄鋼協会ほか 11 学協会                             |        |                     |        |
| 聴 講 料 | (テキスト代を含む)                                  |        |                     |        |
|       | 会 員 (協賛学協会員を含む)                             | 4,000円 | 学生会員 (協賛学協会学生会員を含む) | 1,500円 |
|       | 非会員   | 5,000円 | 非学生会員               | 2,000円 |
| 申込締切  | 10月10日 (聴講料添付のこと)                           |        |                     |        |
| 申 込 先 | 日本金属学会 (仙台市南町若生ビル)                          |        |                     |        |
|       | なお詳細は前記申込先にお問合せ下さい。                         |        |                     |        |

### プ ロ グ ラ ム

|       |             |                      |             |         |
|-------|-------------|----------------------|-------------|---------|
| 第 1 日 | 9・30—11・30  | 金属の塑性(電顕観察を含む)       | 金材技研金属物理部長  | 田 岡 忠 美 |
|       | 12・30—14・30 | 金属の強度(加工硬化, クリーブを含む) |             |         |
|       | 14・45—16・45 |                      |             |         |
|       |             |                      | 東大理学部教授     | 鈴 木 秀 次 |
| 第 2 日 | 9・30—11・30  | 金属の破壊                | 東大物性研教授     | 鈴 木 平   |
|       | 12・30—14・30 | 金属の点欠陥               | 京大工学部教授     | 高 村 仁 一 |
|       | 14・45—16・45 | 金属の放射線損傷             | 東大工学部教授     | 橋 口 隆 吉 |
| 第 3 日 | 9・30—11・30  | 合金における析出             | 東北大金研教授     | 幸 田 成 康 |
|       | 12・30—14・30 | 金属の内部摩擦              | 東大工学部教授     | 菅 野 猛   |
|       | 14・45—16・45 | 質疑応答(全講師出席)          | 司 会 東大工学部教授 | 橋 口 隆 吉 |